

思春期保健ネットワーク会議の取り組み

「思春期の子は自分や他者を大切にし、生と性の課題について適切に対処します」

本取り組みは平成 18 年度に発足した八千代市思春期保健ネットワーク会議を中心に医師、助産師、学校関係者、保護者などのメンバーで推進しています。

令和元年度の取り組み

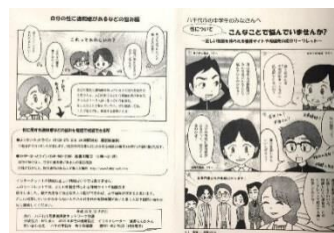
(1) 八千代市思春期保健ネットワーク会議の開催

令和元年度は計 4 回の会議を行いました。発足から 10 年以上が経過し、思春期の子どもを取り巻く環境が変化したことから、「思春期保健の現状と課題」について検討しました。

委員がそれぞれの立場から思春期保健の現状について報告し、意見を交換して理解を深めました。

(2) 中学生向けリーフレットの配布

性に関する正しい知識を得られるサイトや相談機関を掲載した「中学生向けリーフレット」を、市立中学 1 年生とその保護者を対象に配布しました。



(3) 「八千代市オリジナル生と性の教育教材」のデータ更新

平成 25 年度に作成した「八千代市オリジナル生と性の教育教材」に掲載している統計データについて、最新の情報に更新しました。更新したデータは市立中学校に配布し、教員が授業に活用できるよう共有のデータベースに保管しました。

(4) 思春期保健ネットワークニュースレターの発行

保護者や教員を対象に、思春期保健ネットワーク会議の取り組みを伝えることを目的とし、思春期保健シンポジウムの報告を中心としたニュースレターを発行しました。市立小学 5～6 年生と、市立中学 1～3 年生等に配布しました。

(令和元年 11 月 第 17 報発行)